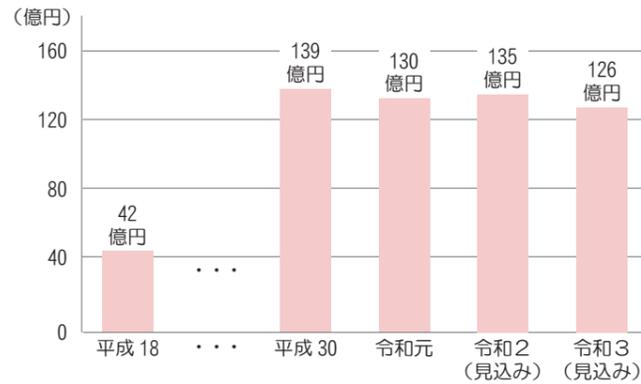
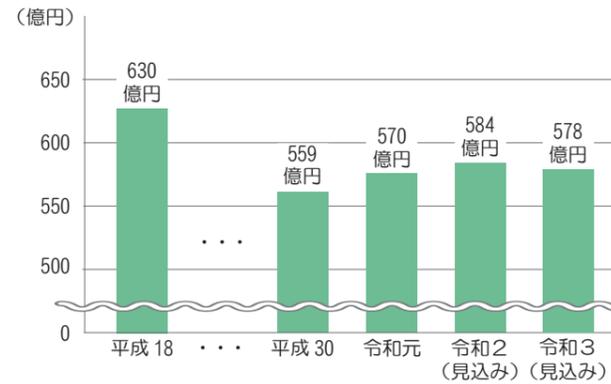


■主な基金(貯金)年度末現在高の推移

※財政調整基金、減債基金、まちづくり基金の合計額



■一般会計における地方債(借金)年度末現在高の推移



■一般会計の市債残高と実質的将来負担額

(単位:万円)

区分	3年度	2年度	増減額
市債現在高(年度末見込み額)	578億2,084	583億5,810	△5億3,726
うち実質的将来負担額	141億9,776	151億1,936	△9億2,160

※3年度の市債残高見込み578億2,084万円のうち、後年度に国の地方交付税で措置される額424億7,496万円(見込み)と民間企業から市に返還される地域総合整備資金貸付事業債11億4,812万円を差し引いた、実質的な本市の将来負担額は、141億9,776万円(前年度比9億2,160万円減)となります



■令和3年度各会計予算の総括表

(単位:万円、%)

区分	3年度 予算額	2年度 予算額	増減額	増減率	3年度末 市債残高 見込み	2年度末 市債残高 見込み	増減額	
一般会計	488億9,862	481億8,800	7億1,062	1.5	578億2,084	583億5,810	△5億3,726	
特別会計	国民健康保険	82億4,504	84億5,816	△2億1,312	△2.5	—	—	—
	後期高齢者医療	21億6,588	21億2,135	4,453	2.1	—	—	—
	介護保険	107億3,874	105億7,229	1億6,645	1.6	—	—	—
	公設地方卸売市場	3,345	6,735	△3,390	△50.3	1億5,359	1億6,025	△666
	合計	700億8,173	694億715	6億7,458	1.0	579億7,443	585億1,835	△5億4,392

■下水道事業会計(公営企業会計)

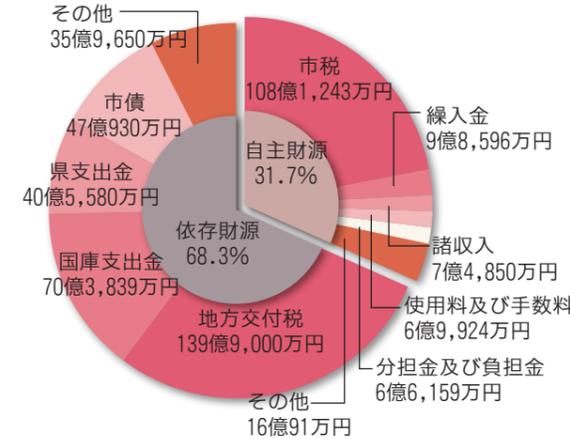
(単位:万円)

区分	収益的収支		資本的収支		3年度末 市債残高 見込み
	収入	支出	収入	支出	
公共下水道事業	25億209	24億3,362	12億202	23億1,426	372億8,072
農業集落排水事業	9億64	9億1,100	6億7,044	11億620	
戸別浄化槽事業	1億5,682	1億8,450	44	2,902	
合計	35億5,955	35億2,912	18億7,290	34億4,948	

◆収益的収支とは
下水道料金を主な財源として、施設の維持管理や借入利息返済などを行います。

◆資本的収支とは
企業債などを主な財源として、施設の建設や更新などを行います。

歳入



【歳入予算額内訳】

(単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
市税	108億1,243	22.1%	△4.7%
繰入金	9億8,596	2.0%	△26.9%
諸収入	7億4,850	1.5%	△15.4%
使用料及び手数料	6億9,924	1.4%	△0.8%
分担金及び負担金	6億6,159	1.4%	△2.1%
寄附金	15億	3.1%	150.0%
財産収入	1億91	0.2%	△77.3%
小計	155億863	31.7%	△3.1%
地方交付税	139億9,000	28.6%	1.9%
国庫支出金	70億3,839	14.4%	19.7%
県支出金	40億5,580	8.3%	△12.6%
市債	47億930	9.6%	4.1%
地方消費税交付金	22億6,500	4.6%	0.2%
地方譲与税	8億2,218	1.7%	△10.4%
地方特例交付金	3億3,010	0.7%	349.1%
法人事業税交付金	7,442	0.2%	58.3%
環境性能割交付金	3,930	0.1%	△5.5%
配当割交付金	2,050	0.1%	△6.8%
株式等譲渡所得割交付金	1,210	0.0%	△16.0%
交通安全対策特別交付金	1,440	0.0%	10.8%
ゴルフ場利用税交付金	1,120	0.0%	0.9%
利子割交付金	730	0.0%	15.9%
小計	333億8,999	68.3%	3.8%
合計	488億9,862	100.0%	1.5%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります

用語解説(歳入関係)

▶自主財源・依存財源/市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金が「依存財源」。▶地方交付税/市の行政需要と財政力に応じて、国から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金/事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶市債/事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金

歳出

【歳出予算額内訳】

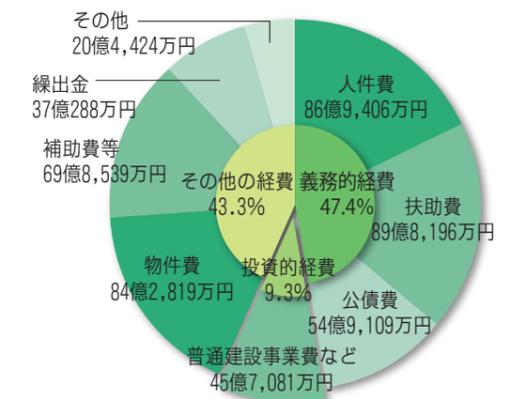
(単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
人件費	86億9,406	17.8%	0.6%
扶助費	89億8,196	18.4%	1.8%
公債費	54億9,109	11.2%	3.5%
元金	52億4,656	10.7%	3.9%
利子	2億4,453	0.5%	△4.4%
小計	231億6,711	47.4%	1.8%
普通建設事業費	45億6,881	9.3%	△19.9%
災害復旧事業費	200	0.0%	0.0%
小計	45億7,081	9.3%	△19.9%
物件費	84億2,819	17.2%	11.6%
補助費等	69億8,539	14.3%	11.1%
繰入金	37億288	7.6%	1.9%
投資及び出資貸付金	9億6,818	2.0%	△19.5%
維持補修費	10億1,232	2.1%	4.3%
積立金	2,374	0.0%	△7.8%
予備費	4,000	0.1%	0.0%
小計	211億6,070	43.3%	7.3%
合計	488億9,862	100.0%	1.5%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります

*性質別歳出

歳出の経費を人件費や普通建設事業費、物件費など経済的性質で分類したものが性質別歳出です。このほかに、農林水産業費や教育費など行政目的で分類した目的別歳出があります。



用語解説(歳出関係)

▶義務的経費/人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶投資的経費/道路や学校など、将来的に残るものに対する経費▶扶助費/社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶公債費/過去に借りたお金を返すための経費▶物件費/施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶繰入金/一般会計から特別会計へ支出する経費▶補助費等/事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費